

はなバスルート見直し案

		第1ルート	第2ルート	第3ルート		第4ルート	第5ルート
				向台循環	田無駅～東伏見駅		
H25 年度・運賃改定前後の変化 (H25.4.1～H25.7.31 →H25.8.1～H26.3.31)	利用者数変化 (H24.1→H26.6)	平日 914 人→880 人 休日 637 人→527 人	平日 501 人→332 人 休日 346 人→202 人	平日 447 人→447 人 休日 292 人→328 人	平日 543 人→434 人 休日 397 人→258 人	平日 883 人→736 人 休日 620 人→713 人	平日 587 人→589 人 休日 435 人→391 人
	運行距離あたり利用者数	3.7 人/km→3.2 人/km	2.7 人/km→2.2 人/km	2.4 人/km→2.0 人/km	1.8 人/km→1.4 人/km	2.9 人/km→2.7 人/km	3.4 人/km→3.1 人/km
	1 人あたり公費負担額	33 円/人→ 7 円/人	69 円/人→73 円/人	88 円/人→83 円/人	156 円/人→191 円/人	82 円/人→61 円/人	58 円/人→9 円/人
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭幅員道路の走行区間が長い。</li> <li>・特に雨の日に満員通過が多く生じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスと競合状態にある。 (「コミュニティバスの導入に関するガイドライン」(国土交通省)において路線バスと実質的に競合することの無いよう留意することとされている。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西武新宿線の踏切遮断による影響や渋滞による遅延が生じている。</li> <li>・田無駅～東伏見駅は運行距離が長く、路線バスと重複する区間も長い。また、1 人あたりの公費負担額が他ルートに比べ大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西武新宿線の北側区間は、南側区間に比べて利用者が少ない。</li> <li>・西武新宿線の踏切遮断による影響や、芝久保運動場で対向するはなバスとのすれ違いによる時間調整で遅延が生じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行上の課題は特にない。</li> </ul>		
見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○狭幅員道路を走行する区間について現在事業中の周辺の都市計画道路等の完成後、それを利用したルートへの変更を検討する。</li> <li>○満員通過の解消を図るため、ルート変更に合わせて車両の大型化を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○路線バスで代替可能なバス停間の利用者が多いため、存続の必要性を検討する。</li> <li>○検討の際、公共交通空白地域の発生状況を検証する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遅延対策として、バスロケーションシステムの導入を検討する。</li> <li>○利用が少ない新町5丁目～東伏見駅南口間の利用実態を把握し、今後の方向性を検討する。</li> <li>○病院新設による利用動向を見ながら、引き続き見直し方針を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○西武新宿線の北側区間と南側区間の利用者の偏りを解消し、踏切遮断等による遅延の解消を図るためルートの分割を検討する。</li> <li>○現在、利用の少ない北側区間は、最寄駅への接続と運行便数の適正化を検討する。</li> </ul>	—		
見直し案		<ul style="list-style-type: none"> <li>○一部区間(東伏見駅～保谷庁舎)の存続 ⇒第5ルートのひばりヶ丘駅～保谷庁舎間と接続させ、東伏見駅～保谷庁舎～ひばりヶ丘駅のルートとし、運行の効率性、利便性の向上を図る。 ⇒保谷庁舎～碧山森入口間の経路を、西 3・4・11号(練馬東村山線)とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○西武新宿線の北側と南側でルートを分割 北側ルート: 田無駅～多摩六都科学館～花小金井駅 南側ルート: 田無駅～芝久保運動場 ※芝久保運動場～芝久保間を課題区間とし、田無駅～花小金井駅のルートとして存続(ただし、利用に見合った運行便数とする。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひばりヶ丘駅～保谷庁舎ルートを第2ルート変更案に合わせ、ひばりヶ丘駅～保谷庁舎～東伏見駅間ルートとする。</li> <li>○循環ルートの変更は無し。</li> </ul>			
ルート図	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ルートに変更無し</li> <li>ただし、上前～下保谷2丁目住宅北の区間については西 3・2・6号(調布保谷線)の整備完了後、ルートを変更する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>※ルートに変更無し</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>※第2ルートを参照</li> </ul>		